

平成 30 年度全国大会 学生公開デザインコンペ募集要項

デザインコンペ課題：「庭」の力を生かした京都の再生

公益社団法人日本造園学会では、平成 30 年度全国大会の一環として、以下の募集要項により学生公開デザインコンペを開催いたします。ふるってご応募くださるようご案内申し上げます。

■コンペの趣旨

京都は、プライベートな居住空間であっても京町家にみられるように、街となめらかにつながるための建築や庭を様式として発展させてきた。たとえば「坪庭」や「通り庭」は採光や通風の仕組みとして造られている。また、オープンスペースが、通り、路地から社寺境内へと繋がることによって、パブリックな街の自然として、機能的、景観的、そして文化的に京都を特徴づける要素となっている。

しかし、歴史的に自治意識の強いコミュニティによって、これらを維持形成してきた京都にあっても、地域社会の担い手の減少が進んでいる。京都の街を特徴づける都市景観も一部で中高層化が進行しており、京都らしい個性と魅力ある都市の再生が大きな課題となっている。

三方を山々に取り囲まれ、豊かな自然と共生する特徴的な都市構造を有し、山紫水明の地と呼ばれてきた京都は、いわば庭の中の都市であり、都市自体が大きな庭とも考えられる。ここで、都市の共同生活の場として、通り、路地、社寺境内、河川等も庭の構成要素として見るならば、時代とともに都市構造が変化する中であっても、庭を中心に生かして、生活環境のポテンシャルを高める京都の新しい仕組みを構築することができるのではないだろうか？

日本人には伝統的に、ものを美しく作る繊細な

能力がある。これはデザイナーというよりも施工者の、あるいは職人の能力である。この能力が生かされるべきは、街中が公園になるような快適な屋外環境を造る時である。ランドスケープアーキテクトにとって、パブリックな空間に力を注ぐことも大事であるが、パブリックは、それと表裏一体のものとしてのプライベートがあって初めて成り立つものである。また、コモンという概念は、複数の主体がプライベートを共有することを意味するが、現代のパブリックの議論には、このようなコモンの概念は、十分に加味されているだろうか。こうしたことから、これからのランドスケープデザインを考える上で、一旦、ランドスケープデザインが技術の根源をもつ「庭」を議論の本流に戻し、伝統的な庭師の職人技術が持つ風土性を、評価し直すことが必要であろう。

では、21 世紀の京都に庭はどのような役割を果たすべく登場するのであろうか？

本コンペでは、京都を庭の力を生かして再生させ、より魅力的にする具体的な空間デザインを求めるものとする。

■デザイン課題

「庭」の力を生かした京都の再生

■応募条件

- 1) 応募資格：高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生の個人またはグループとする。なお、登録時に学生であれば応募時(作品提出時)に社会人になっていてもかまわない。
- 2) グループの応募は 5 名以内とし、グループの場合は代表者を 1 名とする。

- 3) 専門分野は問わない（ランドスケープ，都市計画，土木，建築，デザイン等）。
- 4) 高校生は一次審査のみ。一次審査終了後，入賞者に連絡する。
- 5) パネルは日本語または英語，プレゼンテーションは日本語とする。英語のみを使用する者が応募する場合は，日本語によるプレゼンテーション（質疑応答を含む）が可能な者と組んで，グループで応募すること。
- 6) 平成30年5月25日（金）に京都大学北部総合教育棟益川ホールにて行われる二次審査会（公開プレゼンテーション）と，5月26日（土）に京都大学農学部総合館にて行われる日本造園学会全国大会の表彰式への参加が可能であること。また，グループによる応募の場合は，可能な限り全員が，二次審査会および表彰式に参加できること。
- 7) 応募作品は未公表でオリジナルなものに限る。アイデアや表現などにおける他者の作品との極端な類似が見られるなど，作品のオリジナリティが疑われる場合には，その作品を失格とする場合がある。

■対象地

各自の問題意識に応じた京都市内の場所すべてを自由に選定。

取組のテーマの例としては，「景観・水と緑・公園」，「防災・減災」，「インフラ（道路，水路等）」，「祭り・歴史文化」，「跡地，未利用地」，「地域コミュニティ」，「自然との共生」等が考えられるが，それ以外も含め京都の都市課題の解消や次世代都市の創出に資する様々な関連テーマを，幅広く空間デザインの対象とする。

■質疑応答・現地見学会

質疑応答・現地見学会は行いません。対象地の

調査，写真撮影等は適宜おこなってください。ただし，対象地およびその周辺地域には多くの市民の方が仕事や生活をされています。また道路等は交通量が多いところもあります。事故を起こさないよう，迷惑にならないように良識ある行動をお願いします。

■提出物

①A1サイズ（594 mm×841 mm）用紙2枚まで「横長方向で使用」し，5 mm程度の厚さのパネルに貼って提出してください。応募作品は，手描き，CAD，CG，模型写真等，最終的に平面的なグラフィックがあれば形式は問いませんが，審査の際の視覚性については十分にご配慮ください。具体的な空間デザインとして評価できる表現を必ず含んでください。

※ パネルにフレームを付けしないでください。

※ パネル裏面右上隅に「登録番号」（サイズ5 cm×5 cm）を記入してください。

※ 応募者を特定できるような記述は避けてください。

※ 図や文字を張り付けた場合は，剥がれ落ちないようにしっかりと貼り付けてください。輸送中に剥がれたものについては，事務局では責任は負いません。

②電子データ：作品の電子データをCD-Rで提出してください。

※ データは，PDF形式で送付してください。PDFはHigh Qualityで作成してください。

※ 二次審査ではパネルの内容についてPPTプレゼンテーションのデータの提出が必要になります。

■スケジュール

登録期間 平成30年2月1日（木）～
4月6日（金）

応募作品の受付 平成30年4月6日（金）～

5月7日(月)(必着)

一次審査会 平成30年5月12日(土)
二次審査会 平成30年5月25日(金)
審査結果発表・表彰式
平成30年5月26日(土)

■表彰の内容

- ・最優秀賞(1点) 賞状, 賞金(5万円)
- ・優秀賞(2点) 賞状, 賞金(2万円)
- ・佳作(7点程度) 賞状, 賞金(1万円)

■登録方法

- 1) 応募には事前登録が必要です。上記の登録期間中に下記アドレスに必要事項を記入の上、「コンペ登録希望」をタイトルに入れたメールを送付してください。登録希望のメールを送付された方には、登録番号を発行します。応募希望者の登録番号受理をもって登録完了とします。
- 2) 必要事項：応募者氏名・所属(グループの場合は代表者氏名と構成員名, 全員分の所属), 代表者の住所・電話番号・メールアドレス
- 3) 応募および問い合わせ：
jilacompe@jila-zouen.org
※全角@は半角@に置き換えてください。
(担当：村上修一)

■提出先

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院農学研究科森林科学専攻環境デザイン学研究室内
「日本造園学会学生コンペ」事務局

■審査および諸注意事項

【審査委員会】

審査委員長：

佐々木葉二 京都造形芸術大学 教授

一次・二次審査委員：

尼崎博正 京都造形芸術大学 教授
片山博昭 京都市／(一財)日本造園修景協会京都府支部
岸 和郎 建築家／京都造形芸術大学大学院教授

田畑 了 (株)園三 代表

一次審査委員：

今西純一 京都大学 助教
河合 健 京都造形芸術大学 教授
武田史朗 立命館大学 教授
村上修一 滋賀県立大学 教授
山田拓広 花豊造園(株)代表取締役社長

【選考方法】

選考は、2段階方式で行います。

○一次審査(非公開)

審査委員会は、提出された応募図書により審査を行います。選考は提出者の名前を一切匿名にして行います。審査委員会は、主旨及び課題を総合的に検討し、本学生コンペの条件に適合した優れた提案を10作品程度選考します。この一次審査通過者＝入賞者とします。

○二次審査(公開)

一次審査で選考された作品の応募者には、5月25日(金)に開催する公開プレゼンテーションにて応募者本人による提案内容のプレゼンテーションをしていただき、審査委員との質疑応答の機会を設けます(発表5分, 質疑応答10分)。審査委員会は、一次審査選考作品のプレゼンテーションならびに質疑応答を参考に、最優秀賞等の選考を行います。なお、PPTプレゼンテーションは、一次審査提出物と同一内容にしてください。説明のためであっても新たなグラフィックを付け加えることはできません。なお、盗作防止のため一次審査通過作品については作品画像を一般公開します。

○その他

審査結果についての質問や異議には一切応じません。

【審査結果の発表・表彰】

一次審査の結果は、応募者全員に登録されたメールアドレスに通知します。

二次審査の結果は、5月25日（金）の審査会后に内示します。5月26日（土）の表彰式にて正式に発表、表彰されますので、必ず参加してください。不可避の理由なく参加のない場合、入賞は取り消されます。

【応募作品の返却について】

応募作品の返却は行いません。

【問い合わせ先】

学生公開デザインコンペ事務局：

jilacompe@jila-zouen.org

※全角@は半角@に置き換えてください。

（担当：村上修一）

【失格要件】

応募登録用紙に虚偽の記載があった場合、及び、

応募作品中に応募者の氏名や所属の特定、推測ができる表記があった場合は失格とします。

【著作権について】

応募作品の図面、書類の著作権は、応募者に帰属しますが、公益社団法人日本造園学会は、本コンペに関して必要な公表、出版についての権利を無料で使用できるものとします。

【公表および出版について】

応募作品の全部もしくは一部、審査経緯、審査結果、講評等をまとめた「学生公開デザインコンペ」の報告を学会HPならびに学会誌「ランドスケープ研究」に掲載する予定です。応募者の氏名、所属を公表します。

【二次審査会および表彰式参加のための宿泊先の確保について】

京都は国内外からの観光客が多く、宿泊施設の予約を恒常的に取りにくい状況にありますので、早めの予約をおすすめします。

主催：公益社団法人日本造園学会

共催：全国都市公園整備促進協議会